|  |
| --- |
| 杉並区公共施設景観形成指針に対する措置状況説明書 |
| ５－２　公園・緑地 |
| 当該行為における景観形成に関する考え方 |
| 記載欄 |
| ５－２－(１)接道部 |
| ①植栽 |
| 接道部は、見通しのよい植栽とする。 |
| 記載欄 |
| ・ 低木植栽又は低木と高木を組合わせる。 |
| 記載欄 |
| ・歩行者や公園利用者の視線を遮らない。 |
| 記載欄 |
| ・明るく開放的な空間にする。 |
| 記載欄 |
| ②デザイン |
| 公園･緑地へと自然に導く工夫をする。 |
| 記載欄 |
| ・公園・緑地と周辺の空間との状況に応じ、分ける機能、あるいは一体化する機能を使い分けたデザインとする。 |
| 記載欄 |
| ・道路の歩道と園路の舗装材は調和させ、ゆとりある歩行空間をつくる。 |
| 記載欄 |
| ・誰もが公園・緑地の敷地内にスムーズに入れるように、ユニバーサルデザインとする。 |
| 記載欄 |
| ・柵類は、色や形態で目立たなくする。 |
| 記載欄 |

|  |
| --- |
| ・車止めは、公園利用者が安全に出入りできるように目立たせる。 |
| 記載欄 |
| ③素材 |
| 舗装材は、安全性や歩行性に配慮した素材を選択する。 |
| 記載欄 |
| ④歩行者空間 |
| ゆとりある歩行者空間を確保する。 |
| 記載欄 |
| ・交通量が多く、歩道の無い道路では、誰もが安全に気持ちよく通れる歩行者空間を確保する。 |
| 記載欄 |
| ５－２－(２)緑化とオープンスペース |
| ①既存樹木の活用 |
| 既存の高木や樹林を残し、地域の人々に愛着を持たれる公園とする。 |
| 記載欄 |
| ②季節感の演出 |
| ・花や実のなる樹木を植栽する。 |
| 記載欄 |
| ・草花を植えて彩りを添える。 |
| 記載欄 |
| ③区民の協力 |
| ・一年を通じて区民が草花を育て、楽しむことのできる公園とする。 |
| 記載欄 |
| ④個性ある公園づくり |
| ・シンボルツリーを守り育てる。 |
| 記載欄 |

|  |
| --- |
| ・季節を代表する花木を植え、地域の名所をつくる。 |
| 記載欄 |
| ５－２－(３)公園施設 |
| 1. 素材
 |
| ・耐久性のある素材を選択する。 |
| 記載欄 |
| ・安全で、心地よく、快適に使える素材とする。 |
| 記載欄 |
| ②デザイン・色彩 |
| 　・みどりと調和のとれたものにする。 |
| 記載欄 |
| 　・公園の特徴が出せるように選定する。 |
| 記載欄 |
| 上記以外で特に景観に配慮した事項 |
| 記載欄 |